

1学期が終了しました

7月19日、1学期が終了しました。終業式では、3年1組 高田昊希くん、2年1組 村上愛弥さん、1年2組 石本碧くん、の各学年代表が素晴らしい1学期の振り返りをしてくれました。

1学期を振り返ると、3年生は、体育大会、中体連、課活動等、学校の要としてよく頑張ってくれました。2年生は、これから学校を支えていくリーダーとしての心構えが育っています。1年生は、学校にも慣れ、どんどん頼もしさも見えてきています。みんな、よく頑張りました！

私からは、「夏休みだからこそ、**普段できないことにチャレンジ**したり**社会と関わったり**、気の利いた附中生であってほしい」と話しました。

生徒対象の校内教科書展示会

今年は、令和7年度から学校で使用する教科書を選定する年になっています。熊本市等の公立学校で使用する教科書は、各教育委員会会議で選定します。本校では、職員が教科書を吟味して意見書をつくり、校長が選定することになっています。現在、この作業を進めています。

熊本市等では、教員や保護者等の意見を聞くために、「教科書展示会」を開き、そこで出された意見を参考にします。本校では、先日の三者教育相談時に、附属小学校で「教科書展示会」を開き、保護者の皆様にご案内し、数名からご意見をいただいたところです。

さらに、本校独自の取組として、新教科書を使うことになる1、2年生を対象に、「教科書展示会」を開きました。短い時間ではありましたが、

生徒たちは、熱心に教科書を見比べていました。**学びの主体となるのは生徒**です。その生徒たちに教科書を見学させたのは、以下の理由からです。

①主たる教材である**教科書についての意識を高めさせる**。

②様々な教科書から使用する教科書が選ばれていることを知らせる。

教科書見学後、意見や感想がある生徒には、意見や感想を提出してもらいました。想像以上に多くの生徒から提出されて、さすが附中生と感心しています。意見の一部を紹介します。

○今の教科書よりも、社会的な問題をたくさん取り上げていたり、詳しく書かれているものもあっていいなと思いました。(2年生)

○どの教科書もいろいろなものが書いてあって、HIKAKINやジョジョの奇妙な冒険がありワクワクしました。正直楽しかったです。(2年生)

○文字が見やすくてごちゃごちゃしている教科書でなく、見やすくて探究心がくすぐられるような教科書を使いたいです。(2年生)

○各教科、基本的内容はあまり変わらないが、会社によって内容の伝え方や表現方法が違っていて、どれも工夫された教科書だった。(1年生)

○文字や絵がこんなに違うんだ！と驚きました。また、表紙がでこぼこだったり、サラサラだったり面白かったです。(1年生)

来年度使用する教科書は、8月中に決定し、改めてお伝えします。



生徒対象校内教科書展示会の様子

授業力向上に向けた取り組み

1学期を振り返って、本校での授業力向上に向けた取り組みについて、ご紹介します。本校職員は、「授業で勝負」という矜持をもって毎日の授業に臨み、授業力向上に精力的に取り組んでいます。授業は教育活動の中心であり、生徒にとって学校生活の大半をしめる大切な時間だからです。私自身も、できるだけ授業を参観するようにしています。

授業をブラッシュアップするために「研究授業」と呼ばれる、他職員が授業参観し、推奨点改善点を指摘し合う研究会を行っています。業界用語になりますが、研究授業には2種類あります。

大研＝全職員が参観。本校では、生徒代表も参観。授業後に授業研究会を開催して生徒も職員も授業改善を検討する。

小研＝グループ（複数教科で編成）内の職員が参観。授業後に参観者が授業者に改善点等を個別に意見する。

1学期は、大研を1回、小研を全職員が実施しています。2学期からも、学校全体でよりよい授業を作り上げていきます。

授業で見かけた光景4

7月9日に熊本市動植物園の副園長と係員のお二人をゲストにお招きして、1年理科「生物の世界」の授業を行いました。教科書のまとめ活動は、植物の分類を活用し、植物図鑑を工夫・改善するようになっていきます。しかし、今回の授業は、生徒に解決の必要性をより実感させるために、熊本市動植物園をモデルとし、動植物園内の動物の配置等について工夫・改善し提案する活動を組み入れています。



代表グループによる発表

生徒たちに、よりリアルな現代社会の課題に対峙しどう解決していくのか、理科での学びがいかに関「自他の幸福」につながっていくのかを実感させることを狙っているものです。

生徒たちは、学習した生物の分類方法をもとにしながら、それを動植物園の来場者にどう上手く伝えるか、まで考えた提案を行っていました。

動植物園のお二人からは、発表内容へのアドバイスをいただき、生徒の提案を動植物園運営の参考にしたいというご意見までいただきました。

教科の学びを生活や社会にどう活かしていくかにつながる授業でした。

全校道徳「制服の意義」

7月17日に、議長と生活向上課リーダー、生徒会執行部の諸君が中心となり、1年～3年が縦割りで議論する「全校道徳」を行いました。

今回は、校則検討委員会で議題にしている「制服の在り方」の一貫として、生徒全員の当事者意識を高めるために、実施したものです。

事前の準備から、当日の話合いまで、生徒代表と担当職員が打合せをしながら実施できたことを、校長として嬉しく思っています。準備してくれた生徒諸君に心から感謝します。時間的内容的に、さらにブラッシュアップしていく必要はありますが、生徒たちの「当事者意識」を高めるといった目的は達成できたと思います。

全てのクラスの様子を参観しましたが、1年生が上級生顔負けの意見を発表したり、3年生が下級生の意見をフォローしたり、司会進行役が上手く意見を整理したりと、なかなか面白い話合いでした。この話合いを受けて、今後、本格的に制服の在り方を検討していきます。

全校道徳での話合い

